

(研究報告) 抄録用紙

演題名 (全角 80 字以内)	同一事業所内多職種連携と「ケアプラン作成時の自己評価」の関連性についての検討 ケアマネジャーを対象にしたアンケート調査結果から：その 1
演者名	廣瀬貴久 ¹ 鈴木裕介 ¹ 辻典子 ¹ 服部孝二 ² 紙谷博子 ² 葛谷雅文 ²
所属	1. 名古屋大学医学部医学系研究科地域包括ケアシステム学寄附講座 2. 名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学

研究方法 (右から番号を選び NO. 欄に番号をご記入ください)	1. 症例報告 2. 症例シリーズ報告 3. コホート研究 4. 症例対照研究 5. 調査研究 6. 介入研究 7. 二次研究 8. 質的研究 9. その他研究	NO.
		5
<p>目的：地域包括ケア推進において、介護支援専門員（ケアマネジャー：CM）に求められる重要な資質は、医療知識を含め多職種協働の成果を効率的にサービス提供に反映させることと考えられる。CMと同一事業所内で協働する職種が多いことがケアマネジメントの資質向上に寄与しているかどうかケアプラン作成に関わる因子を用いて検討した。</p> <p>方法：愛知CM研究会教育プログラム受講者（n=70）、愛知CM更新研修の受講者（n=758）を対象にアンケート調査を施行。事務所構成職種数の 2 分位（3 職種以下：N=440、4 職種以上：N=387）とケアプラン作成時に関わる因子との関係について CM828 名（男 176、女 652；非看護系 CM749 名、看護系 CM78）による差異を χ^2 検定、ロジスティック回帰分析を用いて比較検討した。</p> <p>結果：同一事業所で 4 職種以上と協働する CM は 3 職種以下の CM と比較して「医学知識が多い；P=0.008」、「ケアプラン作成会議で戸惑わない；P=0.040」、「多職種連携に積極的；P=0.001」と回答する割合が多く、調査場所、性別、年齢、経験年数、看護資格の有無で調整すると、年齢[OR 0.50(95%CI:0.33-0.76) p=0.001]，経験年数[OR 1.72(95%CI:1.02-2.90) p=0.040]，多職種連携に積極的；[OR 1.50(95%CI:1.11-2.03) p=0.009]が職種数と有意に関連することがわかった。</p> <p>考察：多くの職種と同一事業所内で協働する CM は若く、経験豊富で「多職種連携に積極的」という傾向が本調査から示唆された。一方、多職種が同一事業所においても必ずしも医学知識が多くなるわけではない可能性も示唆された。今後さらに医師、看護師との協働の有無と「医学知識が多い」こととの関連についての追加検討を行う予定である。</p>		